

# 山形県における水産業と水産試験研究の現状

山形県内水面水産試験場

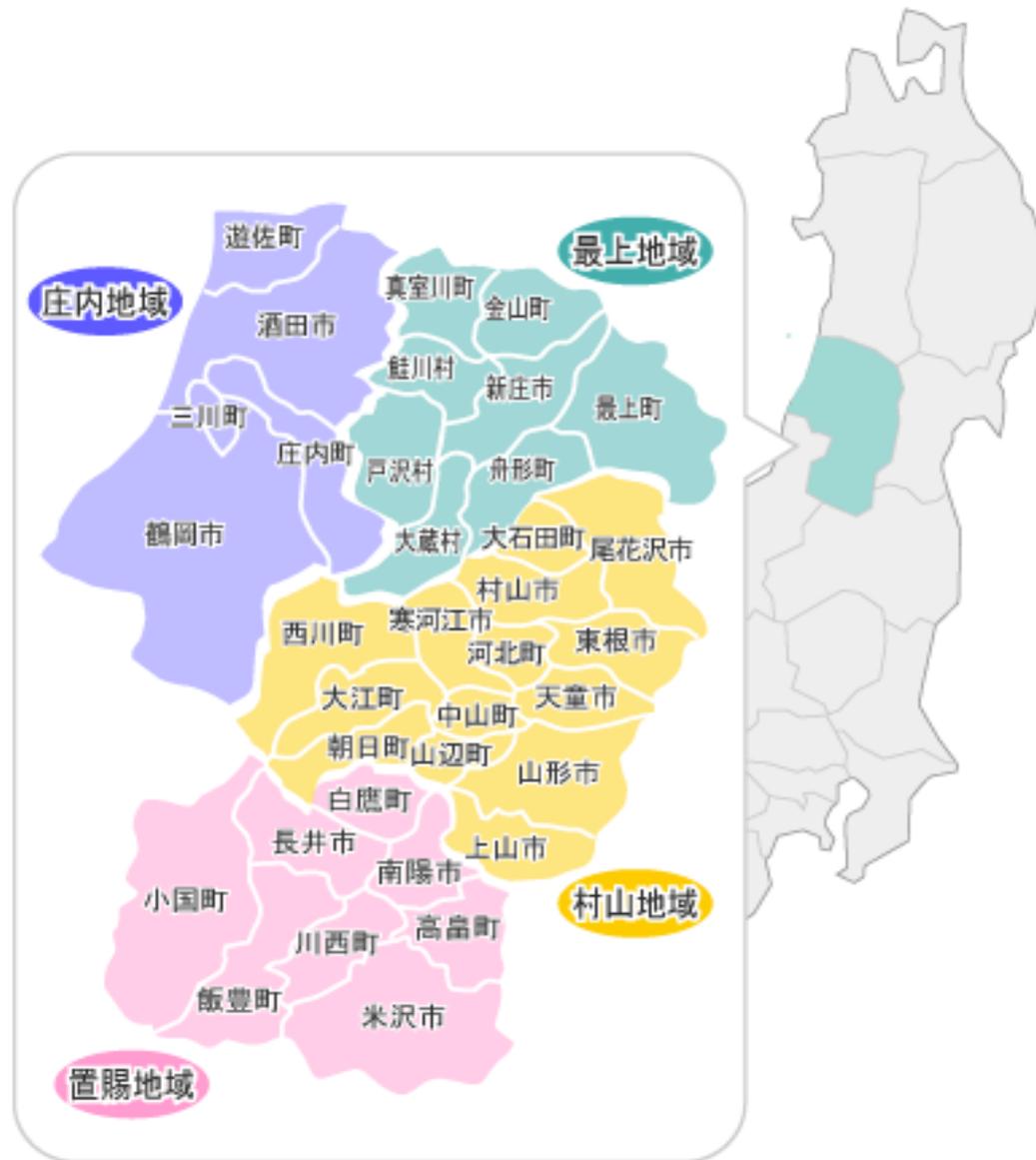
忠鉢孝明

2018,11,05

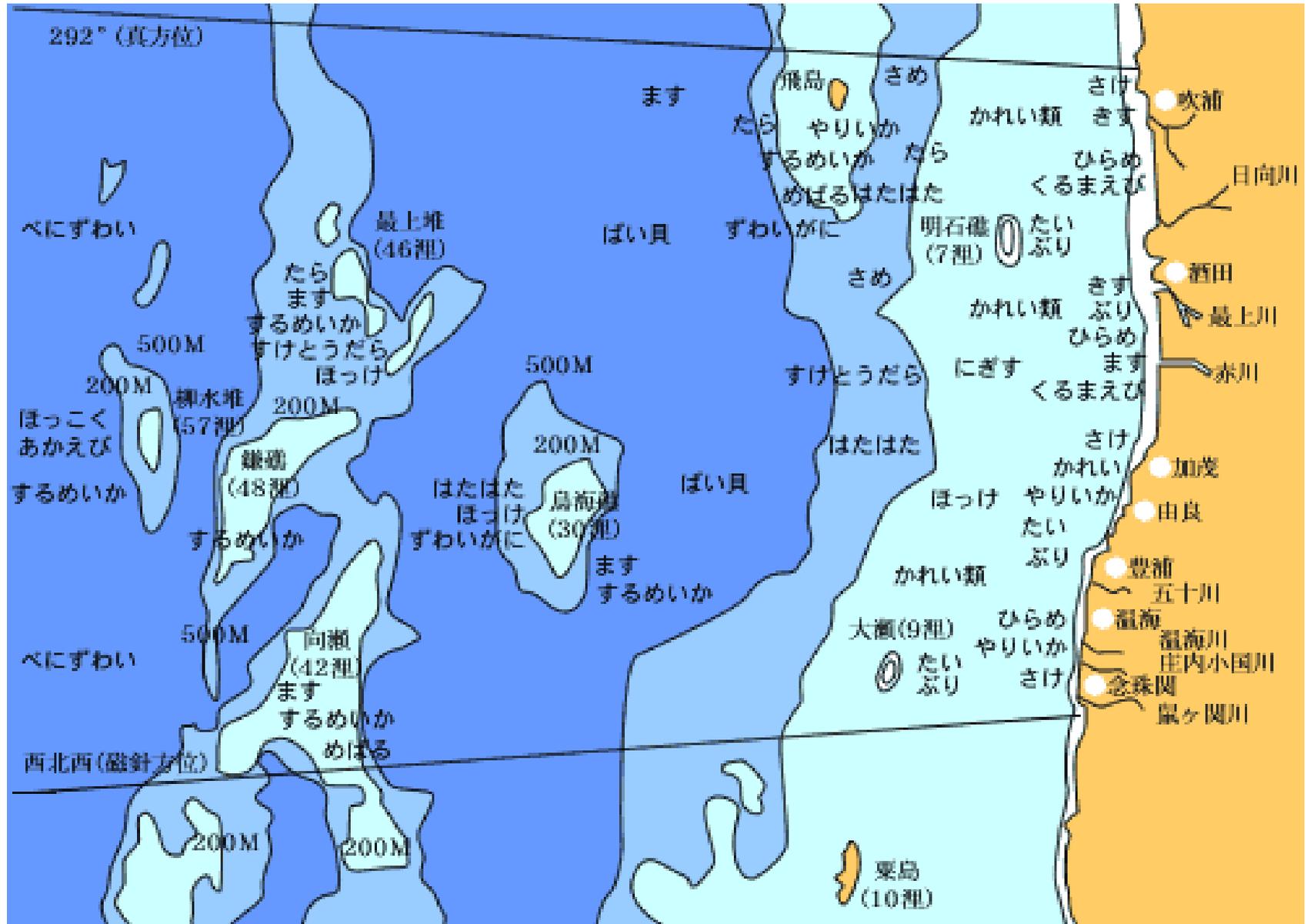
# 山形県周辺の衛星画像



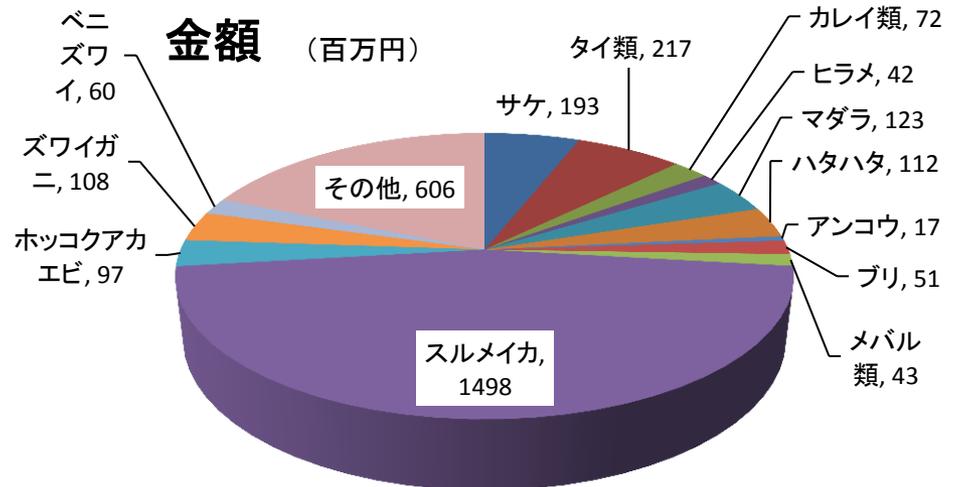
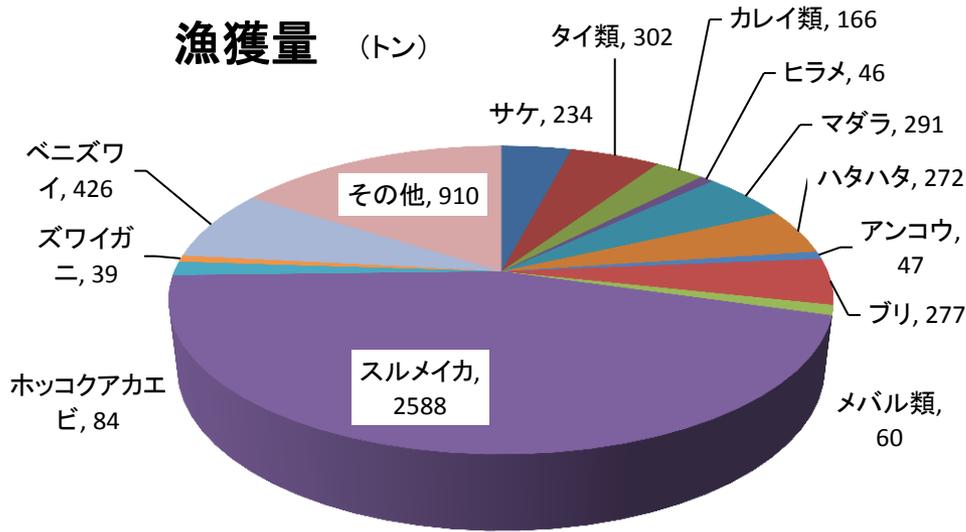
# 山形県の位置



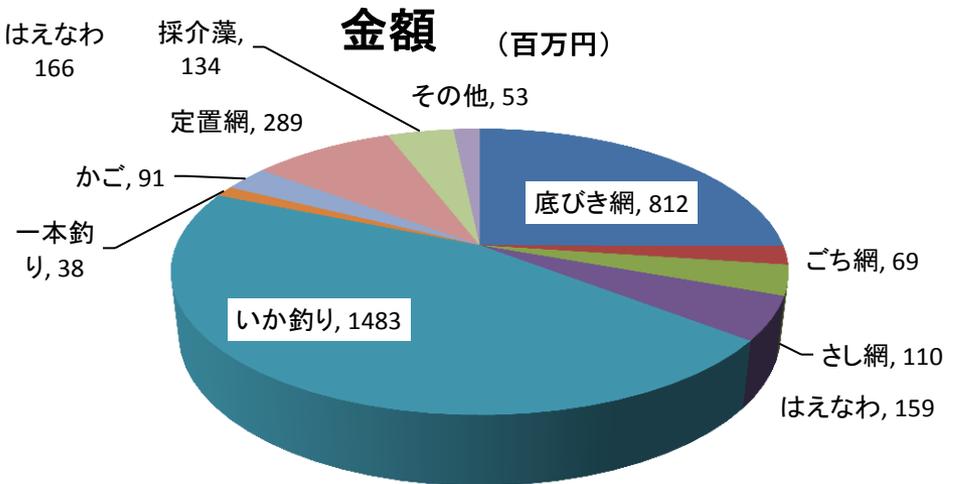
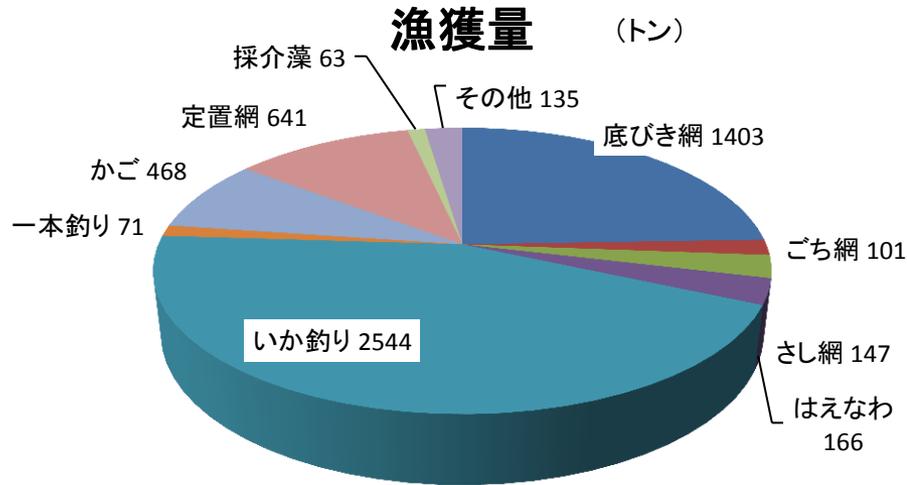
# 山形県沖合漁場図



# 海面魚種別漁業生産(H29)



# 海面漁業種類別漁業生産(H29)



# 海面漁業の現状

○海面漁業従事者数は減少傾向

平成25年は474人（65歳以上51%）

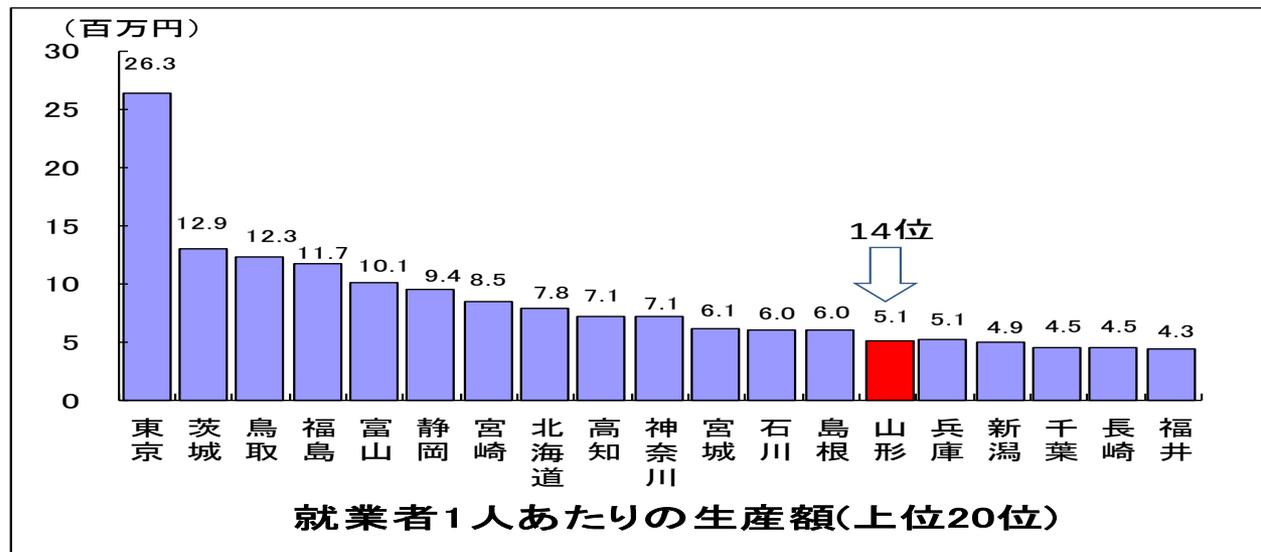
○平成29年の海面漁業生産量は、

5,739トン（対前年比、91%）

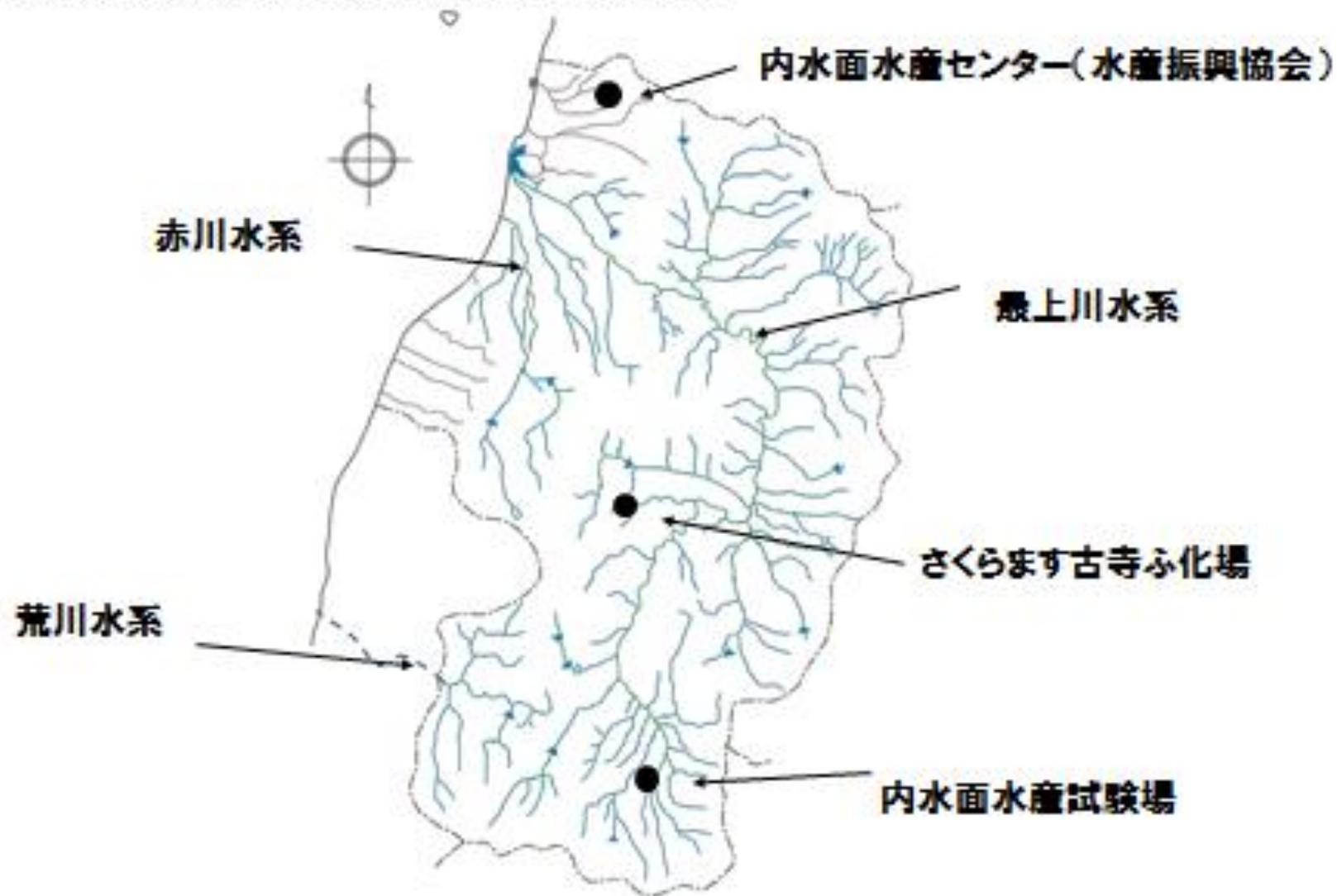
生産額は32億円（対前年比:90%）

総生産額は全国最下位

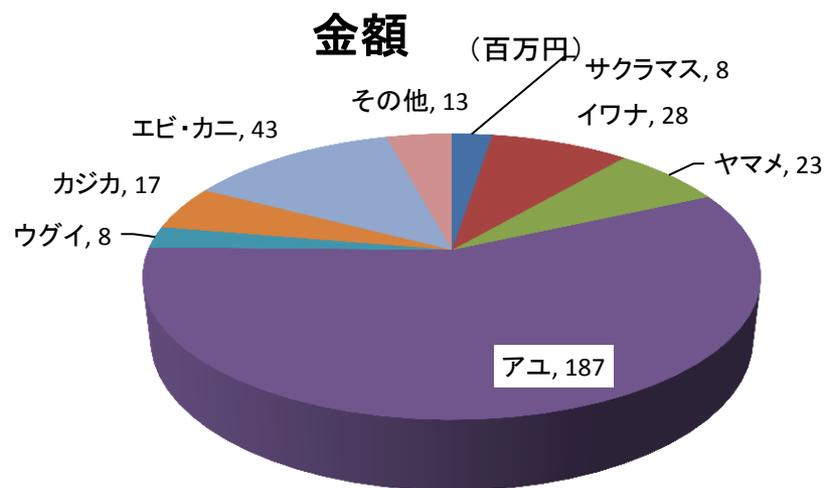
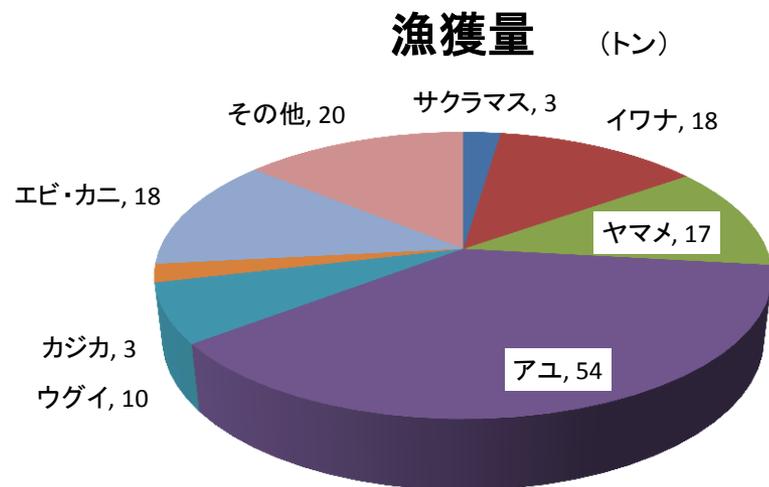
漁業者1人当たりの生産額は、全国14位



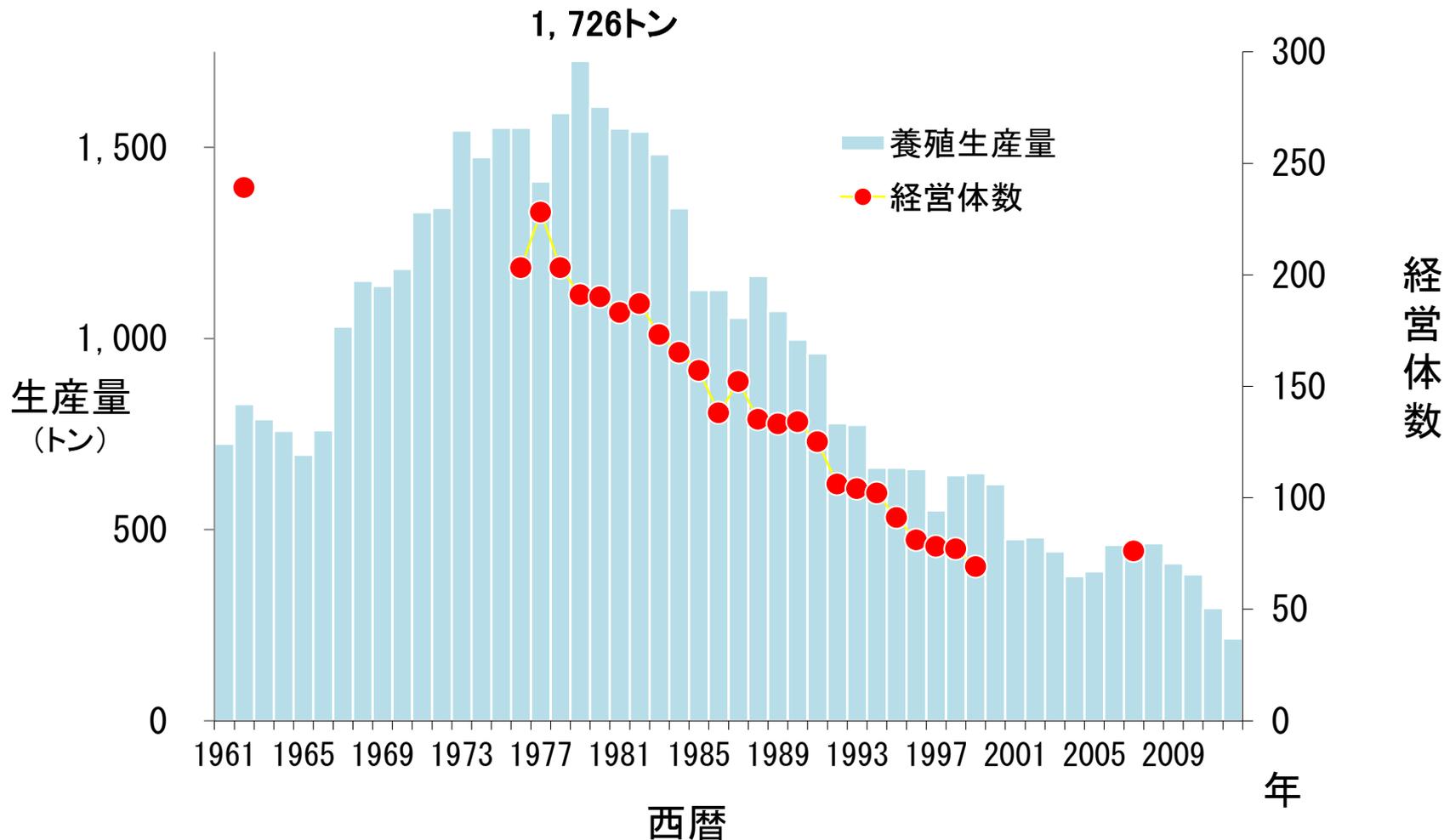
## 山形県の河川と内水面関連施設の立地



# 内水面魚種別漁業生産(H29)

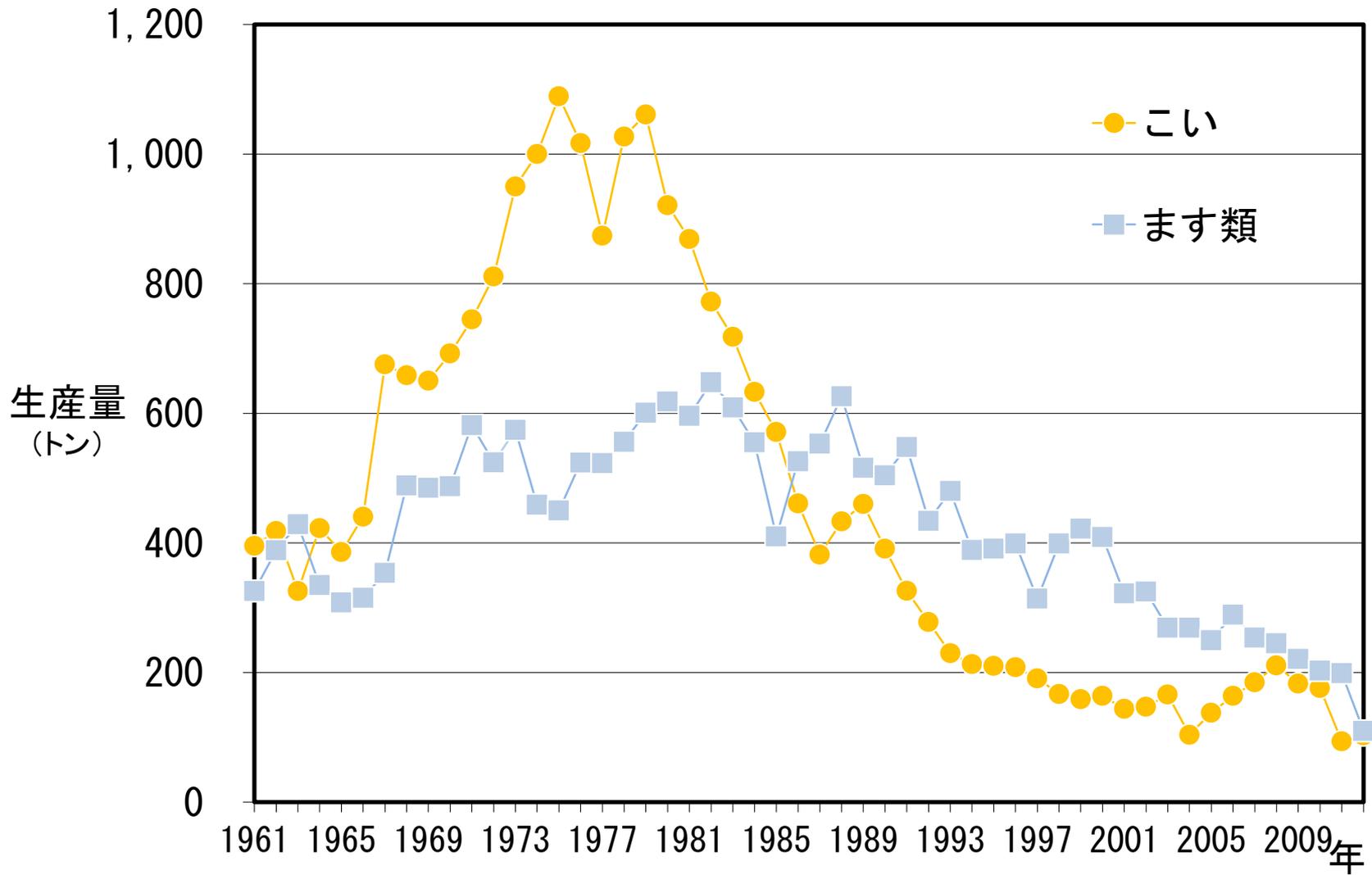


# 山形県における内水面養殖業の生産量と経営体数



出典：山形農林水産統計年報

# 山形県における内水面養殖業の魚種別生産量



西暦

出典：山形農林水産統計年報

# 水産の試験研究機関

## 水産試験場(水試)



(平成29年度庄内浜産水産物付加価値  
向上研究研修施設整備)



漁業試験調査船 最上丸  
(平成31年新船竣工予定)



内水面水産試験場(内水試)

# 水産試験場・内水面水産試験場の役割

## ■海面漁業を支える水産試験場

- ・栽培漁業及び資源管理型漁業の推進
- ・漁船漁業の生産性向上
- ・漁場環境保全・改善に関する調査研究

## ■内水面漁業・養殖業を支える内水面水産試験場

- ・内水面漁業資源の増・養殖技術開発及び普及指導
- ・漁場環境の保全・改善
- ・内水面漁業・養殖業に被害をもたらす魚病に対する検査・指導・感染経路の解明に関する調査研究

## ■水試・内水試の連携による調査研究

- ・サケ、サクラマスやアユ等の両側回遊性魚類の資源増大に向けた調査
- ・共通の課題である魚病対策を中心とした両試験場の連携強化による効果的・効率的な業務推進

# 平成30年度水産施策及び主要研究課題（海面）

## 施策を支える試験研究課題

### 水 試

- 底魚類漁獲動向予測技術開発【継続】
- 食用海藻利用促進と漁港内での藻類簡易増殖技術研究【継続】【重点】
- 底びき網漁業活性化対策調査【継続】（業務）
- 増養殖技術指導【継続】（業務）
- サケ・サクラマス資源調査【継続】（業務）

### 水 試

- トラフグの放流技術高度化研究【継続】
- 科学的評価による庄内浜水産物の品質向上試験【新規】
- 増養殖技術指導【継続】（業務）（再掲）

### 水 試

- 増養殖技術指導【継続】（業務）（再掲）

## 農林水産業現行戦略主要プロジェクト（水産）と主要施策

### 海面漁業生産基盤強化プロジェクト

- 持続的漁業経営支援事業費【継続】
- 栽培漁業振興事業費【継続】
- 沿岸漁業振興調査事業費【継続】
- 漁業生産体制強化対策事業費【継続】

### 県産水産物付加価値向上推進プロジェクト

- トップブランド水産物創出事業費【継続】
- 大型クロマグロ漁獲実証事業費【継続】

### 県産水産物利用拡大プロジェクト

- 水産物直売トライアル事業費【継続】
- 庄内浜の消費拡大事業費【継続】
- 庄内浜文化伝道師による魚食普及事業費【継続】

# 平成30年度水産施策及び主要研究課題（内水面）

## 内水試

- 河川環境を総合的に利用したサクラマスの増殖手法の開発【継続】【重点】
- アユ友釣り漁場に適する河川環境の解明【継続】
- 大型マス安定生産技術開発【新規】【重点】
- 飼料用米を利用したコイ養殖技術の開発【新規】
- 増養殖技術指導【新規】（業務）
- 内水面重要魚種及び河川環境モニタリング【継続】（業務）



内水面漁業振興プロジェクト

- サケ・マス振興事業費【継続】
- 魚類生息環境保全対策事業費【継続】
- 内水面漁業振興事業費【継続】
- さくらます増殖施設管理運営費【継続】

# ・ 河川環境を総合的に利用したサクラマスの増殖手法の開発

各増殖策を1河川に集中して行い、増殖効果を目に見える形(回帰親魚)で検証し、最適手法を比較検討する

## これまでの主な成果 (H26~H30)

従来主流の手法「稚魚放流」と新たな手法「発眼卵放流」等の比較結果

・ 稚魚放流手法では放流後、河川内で種苗の大幅な減耗が確認され、  
海洋生活期直前の種苗の実質的価格は 1尾あたり 193円

・ 発眼卵放流手法では初期生残率が低いが、供給される価格が安く、  
海洋生活期直前の種苗の実質的価格は 1尾あたり 69円

→ この段階までの増殖費用効率は目標としていた2倍を越え、2.8倍  
よって、手法の更新で「経費そのまま・増殖効果2倍」の可能性は十分



サクラマスそ上親魚

# ・大型マス安定生産技術開発

～山形独自のブランドマス開発試験成果(H29終了)～

- ・大型マスの量産体制確立。
- ・異質三倍体の取り組みでニジサクラを開発。
- ・淡水シロザケの養殖技術。
- ・大型マスに適した給餌方法の開発。
- ・ブランドマス検討会の開催



ニジマス×サクラマスの交配種

# 夏休み親子川遊び教室（大樽川）

- ・従来県内の公設試験場が一斉に行っていた「夏休み親子科学教室」が、平成二十六年度から各試験場の独自行事へと移行
- ・従来のプログラムを見直し、地元の県南漁協とも相談を重ねた結果、将来の内水面漁協組合員の候補者を育てようと、
- ・平成28年度から県南漁協との共催で「夏休み親子川遊び教室（名人に教わるカジカ釣り）」と称するイベントを立ち上げ

